

5・6年生の家庭学習



学習時間のめやす
5年生は 60 分 6年生は 70 分

育ちや学びの特徴

- 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。
- 自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりようになります。
- 考える力も大人並になり、時には大人への反抗も見られます。
- 小学校の学習のまとめをして、中学校につなげる大切な学年です。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。



自学自習の習慣を身につける



生活のリズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。

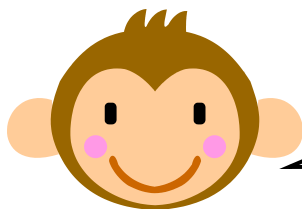
学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、先生や家族の言葉かけが大切になります。目標を決めて、努力できるように温かく見守りながら励ましましょう。

学習の特徴

- ◆学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- ◆筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- ◆家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- ◆自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを体験することで、ものの見方や考え方を身につけることができます。

家庭での支援

- ◆考える力が大人並みになり、時には大人への反抗も見られるようになります。「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、ほめたり励ましたりしましょう。
- ◆家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり生かしたりしましょう。
- ◆学習する場所を決め、整理整頓をし、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。



- ★学習前に、勉強する場所の整理整頓をさせる。
- ★学校からのプリント類を親に渡す習慣をつけさせる。
- ★宿題を自分で確かめ、やる順番を決めさせる。

家庭学習の例

国語

(音読)

- ・情景を思い浮かべながら感情を込めて読むなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。
- ・詩や俳句などを暗唱したり、朗読したりしましょう。

(漢字)

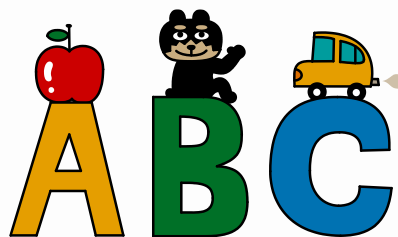
- ・漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。
- ・短文づくりにも取り組みましょう。

(言葉)

- ・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、積極的に使いましょう。

(読書)

- ・いろいろな種類の本を選んで読むようにしましょう。



算数

- ・計算力を向上させるために、よく間違える計算は繰り返し練習しましょう。
- ・答えの確かめを自分でできるようにしましょう。

その他

- ・学校での学習内容を振り返りながら、教科書やノート、プリントなどを参考にして、自主的に学習したり苦手な内容に取り組んだりしましょう。
- ・日記や手紙など、文章を書く機会を増やしましょう。
- ・もっと調べたいことを、いろいろな情報を使って追究しましょう。
- ・外国語を使ってあいさつしたり、自分のことを伝えたりしましょう。
- ・なわとびやジョギングなど体力作りにも挑戦しましょう。